

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科
産科婦人科学講座
大館・北秋田地域医療推進学講座
研究責任者： 水沼 慎人

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 再発子宮体癌における Pembrolisab の奏効と治療前 NLR(neutrophil to lymphocyte ratio)に関する研究

研究の目的

再発子宮体癌の治療に免疫チェックポイント阻害剤である Pembrolisab(キートルーダ®)が使用されることが多くなりました。同薬剤の効果を予測する因子として、治療前の好中球数・リンパ球数の比である NLR や栄養状態・免疫状態のマーカーである HALP スコアが役に立つのか調べることを目的としています。上記マーカーは全ての病院で行える血液検査で計算できるスコアであり、非常に簡便に算出できるため、特殊な検査を行わなくとも上記薬剤の奏効を予測できるようになる可能性があります。

研究実施期間 実施許可日 ~ 2026 年 12 月 31 日
対象となる方 2019 年 1 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日の期間に再発子宮体癌として弘前大学で Pembrolisab を投与された方

利用させていただきたい試料・情報について

当院で行った採血データ、治療内容、予後に関する情報を利用させていただきます。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん/その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	産科婦人科学講座 助教 水沼慎人 TEL: 0172-39-5107
-------	------------------------------------